2022年度
第5回業務委員会
資料№6-1

コミュニティーガス事業
ガス小売事業申請書・届出書記載例

令和　　年　　月

コミュニティーガスのロゴ

一般社団法人　日本コミュニティーガス協会

はじめに

平成２９年（２０１７年）４月、改正ガス事業法が施行されてから早くも６年が経過しています。この改正により、私たちコミュニティーガス事業は、ガス小売事業として規定され、申請書・届出書も様式が改められています。

改正に先立ち協会ホームページで、ガス小売事業登録に必要な様式及び記入例を紹介していますが、変更届等については電話等による問い合わせに対応するにとどまっています。

この度、既にガス小売事業の登録を受けコミュニティーガス事業を運営されている会員事業者の申請・届出業務の一助とするため、申請・届出の内容に合わせた記載例集を作成することとし、ようやく完成いたしました。

作成に当たり、当局のご指導をはじめ当協会業務委員会並びに各支部事務局のご協力を頂きました。また、特に九州支部作成の「コミュニティーガス事業に係る申請書・届出書等作成マニュアル」を参考にさせて頂きました。この場をかりて御礼申し上げます。

この「コミュニティーガス事業に係る申請書・届出書記入例」がコミュニティーガス事業ご担当者様の机上に常備され、お役に立てればと祈っております。

２０２３年　月

（一社）日本コミュニティーガス協会

ガス小売事業申請書・届出書記載例

目　次

ページ

Ⅰ．ガス小売事業の登録申請について　4

Ⅱ．申請書・届出書の様式について　6

Ⅲ．申請書・変更届記載例（自由化団地用）

記載例１（様式４）　ガス小売事業変更登録申請書「供給地点群の増加（新設・譲受・せりあがり）」　8

記載例２（様式５）　ガス小売事業氏名等変更届出書「事業者の名称変更」　13

記載例３（様式５）　ガス小売事業氏名等変更届出書「事業者住所の変更」　14

記載例４（様式５）　ガス小売事業氏名等変更届出書「代表者氏名の変更」　15

記載例５（様式５）　ガス小売事業氏名等変更届出書「その他の営業所の名称・所在地の変更」　16

記載例６（様式５）　ガス小売事業氏名等変更届出書「電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽの変更」　17

記載例７（様式６）　ガス小売事業変更届出書「一部の供給地点群の減少・廃止」　18

記載例８（様式６）　ガス小売事業変更届出書「供給地点群の名称の変更」　22

記載例９（様式６）　ガス小売事業変更届出書「供給地点群の住所表記の変更」　25

記載例10（様式６）　ガス小売事業変更届出書「供給地点数（増加・減少）の変更」　29

記載例11（様式６）　ガス小売事業変更届出書「最大ガス需要の見込みの変更」　33

載例12（様式６）　ガス小売事業変更届出書「供給能力の確保の見込みの変更」　36

記載例13（様式６）　ガス小売事業変更届出書「ガス工作物（調整装置等）の更新」　40

記載例 14（様式６）　ガス小売事業変更届出書「導管（本支管）の内径. 総延長、導管内におけるガス圧力変更」　43

記載例 15（様式７）　ガス小売事業承継届出書「事業承継による供給地点群の増加」　46

記載例 16（様式８）　ガス小売事業休止（廃止）届出書「供給地点群消滅によるガス小売事業の休止または廃止」　47

記載例 17（様式９）　解散届出書「法人の解散によるガス小売事業の廃止」　48

記載例 18（様式１５）　供給計画届出書「前年度末までに提出する定期報告」　49

記載例 19（様式１６）　供給計画変更届出書「供給地点群に移動があった場合の随時報告」　50

【注意事項】

＊ 記載例の見方

赤字は記入例です。

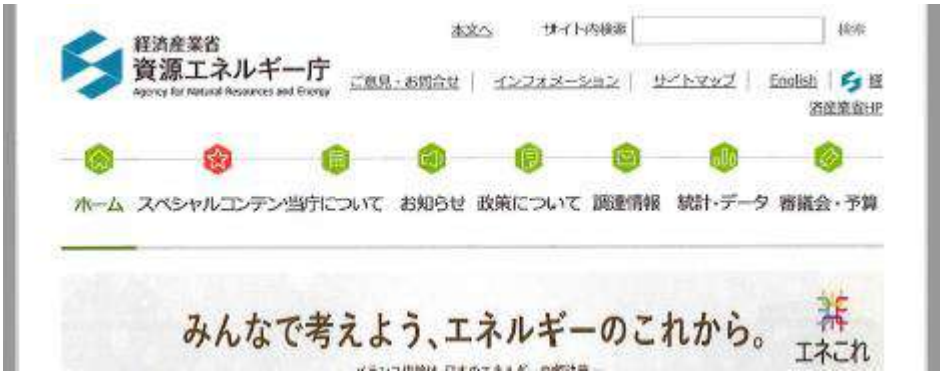
囲みの中の青字は記入する場合の注意事項です。

＊ 様式の使用方法、添付資料は管轄する経済産業局等によって異なる場合があります。作成前に管轄当局に確認されることをお薦めします。

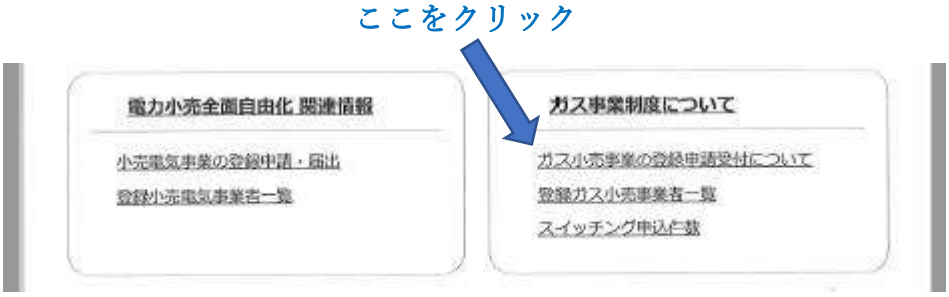
Ⅰ．　ガス小売事業の登録申請について

ガス小売事業者登録を行う事業者は、資源エネルギー庁のホームページをご確認ください。

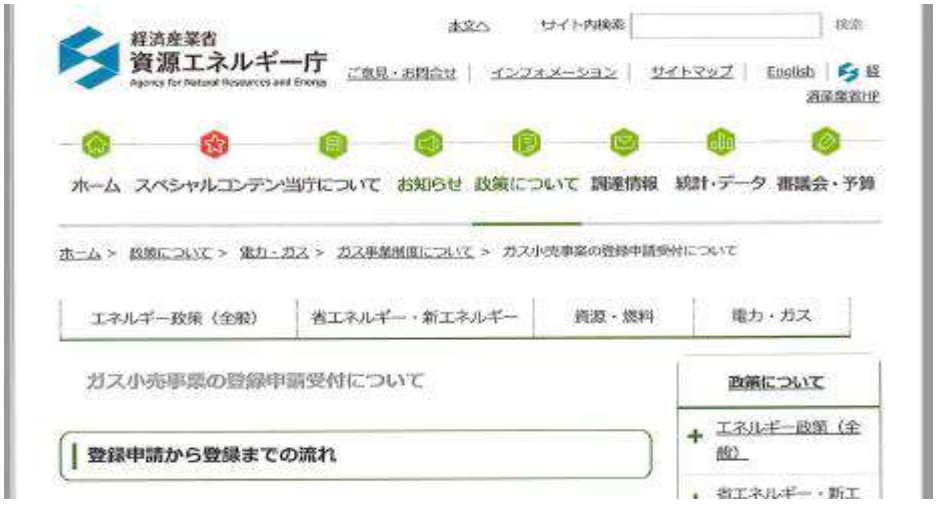
①　資源エネルギー庁ＨＰのホーム画面



②　下にスクロールして「ガス小売事業の登録申請受付について」をクリックする。



③　登録申請のページに移動　「登録申請から登録までの流れ」から始まり、



④　様式、記載要領、記載例、Ｑ＆Ａが掲載されています。





Ⅱ．申請書・届出書様式について

ガス小売事業申請書・届出書を作成するときは、資源エネルギー庁のホームページからダウンロードしてください。

① 前ページ同様、資源エネルギー庁ＨＰのホーム画面から下にスクロールして「ガス事業制度について」をクリックする。



② ガス事業制度のページに移動して、下にスクロールし、関係法令・様式等をクリック。



③　関係法令・様式等のページに移動し、下にスクロールする。



④　Ａ４用紙３ページ程スクロールすると「ガス小売事業者」の様式が掲載されています。





記載例１　「供給地点群の増加（新設・譲受・せり上がり）」

様式第４（第８条関係）

大臣名・局長名に誤りのないように（氏名が無くても受付可）

ガス小売事業変更登録申請書

提出日を記載すること

令和〇年　〇月　〇日

経済産業大臣（〇〇経済産業局長／沖縄総合事務局長）

〇　〇　〇　〇　殿

住所　東京都港区芝大門一丁目１番 30 号

氏名　株式会社コミュニティーガス

代表取締役　　簡易　太郎

追加する供給地点群（団地）の名称・住所・供給地点数を記載すること

備考欄に変更事項を記載。譲受の場合は、譲渡側の事業者名を記載のこと。（〇〇㈱から譲受するもの）

ガス事業法第７条第１項の規定により、同法第４条第１項第３号から第５号までに掲げる事項の変更登録を受けたいので、次のとおり申請します。

小売供給を行おうとする地域	供給地点群の名称：コミガス団地 供給地点の住所：別紙一覧表のとおり 供給地点の数：１４５地点		備考 供給地点群の追加（新設・譲受）
	変更前	変更後	
最大ガス需要が見込まれる月及び時間帯	月　時～　時	2 月　18　時～19　時 全ての供給地点の都道府県群市区町村字番地住居番号を記載した別紙を添付。本欄に全住所記載も可。特定製造所は供給地点に含めない	当該供給地点群が所在する地域においては、給湯等によるガス需要により需要がピークを迎えるのは２月の夜間になると考えられる（生産動態統計調査等によるモデルデータから最大ガス需要を算出）。
最大ガス需要の見込み	m^3/h	30.2 m^3/h 最大ガス需要の見込みは小数第２位を切上げ小数第１位までを記載。＊新設の場合、類似する既存団地の直近３年間で最も使用量の多かった月、使用量等により算出し、根拠資料を添付のこと。い号液化石油ガス換算係数（産気率）：⑴ 北海道・青森・岩手・秋田；0.476 ⑵ 沖縄；0.507 ⑶その他地区；0.488	
供給能力の確保の見込み	m^3/h	48.8 m^3/h ガス工作物（調整装置、もしくは気化装置）の能力により算出。小数第２位を切り捨て、小数第１位までを記載。 ＊調整装置と気化装置が設置されている場合は低い方の能力を記載。	

記載例１　「供給地点群の増加（新設・譲受・せり上がり）」

変更後の供給能力の確保の見込みの内訳

（１）自社ガス発生設備等

確保するガス発生能力の見込み	48.8 ㎥/h	換算係数 0.488 を使用。
自社ガス発生設備等による供給能力の確保の見込み	48.8 ㎥/h	

ガス発生設備、特定ガス発生設備及びガスホルダーの設置の場所、種類及び能力別の数等

	設置の場所	種類 設備名	種類 原料名	使用開始日	ガス発生能力	能力別の数	供給能力の確保の見込み	備考
ガス発生設備								
特定ガス発生設備	東京都港区芝大門〇〇〇〇〇〇コミガス団地特定製造所	容器	LPG	令和〇年〇月〇日（工事着工日：令和〇年〇月〇日）	－	50kg×29本×2系列	100kg/h	能力別の選定根拠については、別紙「特定ガス発生設備の種類及び能力別の選定根拠」参照。
		調整装置			100kg/h	1次側 100kg/h×2 2次側 100kg/h×1		
		気化装置		－	－	－		

ガス工作物（調整装置もしくは気化装置）の能力により算出。小数第２位を切り捨て、小数第１位までを記載。調整装置と気化装置が設置されている場合は低い方の能力を記載。

旧簡易ガスの場合は、原則として同じ値となる。

〇「設置の場所」には・特定製造所の住所・名称を記載。
〇特定製造所が２か所以上の場合、設置場所・設備名・原料名・使用開始日・能力別の数は、特定製造所ごとに記載し、ガス発生能力・供給能力確保の見込みは全ての特定製造所の合算値を記載すること。

新設などガス工作物の工事を行う場合は、使用開始日に設備の工事着工日も記載すること。
＊工事を行う場合は、工事着工日の60日以上前に申請のこと。

調整装置が１組の場合は「×2」と記載

供給能力
100kg ×0.488=48.8 ㎥
能力は、単位は異なるが合わせる。

- 「特定ガス発生設備の種類及び能力別の選定根拠」を必ず添付。
- 特定製造所が２か所以上あり、全ての導管が接続され一体化している場合、「特定ガス発生設備の種類及び能力別の選定根拠」は１枚にまとめること。
- 特定製造所が２か所以上あり、特定製造所が独立している場合は、特定製造所毎に作成した選定根拠に加え、合算値による選定根拠を作成のこと。

＊安全率 1.3 もしくは 1.5 において供給能力が不足する場合、別途説明書類を提出すること。

記載例１　「供給地点群の増加（新設・譲受・せり上がり）」

	設置の場所	種類		使用開始日	圧力及び容積	能力別の数	供給能力の確保の見込み	備考
		設備名	原料名					
ガスホルダー								

内径・総延長については、素材毎の記載は不要。内径毎に全ての素材の合算値を記載。

導管の設置の場所及び内径並びに導管内におけるガスの圧力

導管	設置の場所	内径	総延長	導管内のガスの圧力	備考
	申請書に添付されている導管の設置の状況を記載した図面参照	100A 75A 50A	340m 639m 1,560m	2.2kpa～ 3.2kpa	

供給地点の数が確認でき、特定製造所の位置を示した導管図（導管内径、総延長が確認できるもの）を指す。

ガス小売供給約款、指定旧供給地点小売供給約款等に記載しているガスの圧力と一致させること。

（２）相対契約

確保する契約ガス発生能力の見込み	㎥/h
相対契約による供給能力の確保の見込み	㎥/h

旧簡易ガスの場合、該当しないのが一般的。

契約の相手方の事業者名・所在地・契約締結日等

事業者名	事業者の所在地	契約締結日	契約期間	契約ガス発生能力	供給能力の確保の見込み	備考

変更年月日	令和〇年〇月〇日
ガス小売事業の登録年月日及び登録番号	平成 29 年 4 月 1 日　D1234 みなしガス小売事業者は平成 29 年 4 月 1 日
電話番号、電子メールアドレスその他の連絡先	電話番号：03-5405-2215 電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：info-to@jcga-page.or.jp

増加する供給地点群（団地）におけるガス小売事業の開始予定日を記載。
＊原則としてこの日付の 60 日以上前に申請。工事が伴う場合は工事着工日の 60 日以上前に申請。

登録している番号、アドレスを記載
（担当者の連絡先と異なる場合あり）

備考　様式第１の備考１から１３までと同様とすること。

記載例１　「供給地点群の増加（新設・譲受・せり上がり）」

添付書類

○ 供給地点住所を別紙とした場合の「別紙一覧表」（例１参照）
　＊特定製造所は地点に含めないため住所一覧には記載しないこと

○ 変更理由書（例２参照）

○ 供給地点群（団地）の位置を明示した国土地理院発行の縮尺５万分の１の地形図

○ 導管図（供給地点数が把握でき、特定製造所の位置を示した導管内径・総延長が確認できるもの）

○ ガス主任技術者の履歴書
　＊ガス主任技術者免状の写しを添付すること

○ 特定ガス発生設備の種類及び能力別の選定根拠
　＊ピーク月１地点あたり平均ガス需要量算出根拠添付

○ 変更後の「ガス小売事業遂行体制説明書」（様式第２）

○ 変更後の「苦情等処理体制説明書」（様式第３）
　（様式第２、第３については変更がある場合のみ、変更箇所に下線を引いて添付）

○ 直近の貸借対照表、損益計算書（当局から依頼のあった場合）

○ その他の書類（当局から依頼のあった場合）
　・ガス供給同意書
　・譲渡契約書の写し（団地を譲り受ける場合）

【添付書類に関しては、担当の局への事前相談で
あらかじめご確認くださいますようお願いします】

記載例１　「供給地点群の増加（新設・譲受・せり上がり）」

例１　供給地点住所一覧

小売供給を行おうとする地域
（供給地点住所一覧）（例）

供給地点群の名称：コミガス団地
供給地点の数：145 地点
都道府県群市町村住居番号
東京都〇〇区〇〇町 1-1、2-1

例２　変更理由書

変更理由書（例 新設）

弊社が営むガス小売事業について、以下のとおり新たな小売供給を行おうとする地域（供給地点群（団地））を新設するため、ガス小売事業変更登録を申請します。

供給地点群の名称：　コミガス団地
供給地点の所在地：　東京都〇〇区〇〇町〇〇
供給地点の数：　145 地点
変更予定年月日：　令和〇年〇月〇日

変更理由書（例 譲受）

下記の供給地点群について、〇〇年〇〇月〇〇日付けで〇〇ガス株式会社から譲り受け、新たな小売供給を行おうとする団地を増加するため、ガス小売事業変更登録を申請いたします。

供給地点群の名称：　コミガス団地
供給地点の所在地：　東京都〇〇区〇〇町〇〇
供給地点の数：　145 地点
変更予定年月日：　令和〇年〇月〇日

記載例１　「供給地点群の増加（新設・譲受・せり上がり）」

変更理由書（例 せりあがり）

〇〇年〇〇月〇〇日付けで〇〇ガス株式会社から集合住宅を譲り受けたことで、新たな小売供給を行おうとする団地を増加するため、ガス小売事業変更登録を申請いたします。

供給地点群の名称：　コミガス団地
供給地点の所在地：　東京都〇〇区〇〇町〇〇
供給地点の数：　145 地点
変更予定年月日：　令和〇年〇月〇日

記載例 19　「供給計画の変更」

様式第１６（第２０条関係）

提出日を記載すること

大臣名・局長名に誤りのないように（氏名が無くても受付可）

供給計画変更届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

経済産業大臣（〇〇経済産業局長／沖縄総合事務局長

〇〇　〇〇　殿

住　所　東京都〇〇〇区〇〇　〇―〇―〇

氏　名　〇〇コミュニティーガス株式会社

代表取締役社長　〇〇　〇〇

令和〇年度の供給計画を次のとおり変更したので、ガス事業法第１９条第２項の規定により届け出ます。

変　更　の　内　容	（例１） 供給地点群（団地）の追加・新設により第１表、第３表及び第５表に〇〇団地を追加 （例２） 最大ガス需要量の見込みの増加に伴う、第１表、第３表及び第５表の変更

備考　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

変更の必要性

・法第７条第１項の規定に基づく変更登録（届出済みの供給計画に記載の無いものに限る）を行った場合、及びガスの需給バランスに重大な影響を与える変更を行った場合には、手続きが必要。（ガスの需給バランスに重大な影響を与える変更を実施する場合の判断については、事前に各行政に相談すること。）

添付資料

・変更を必要とする理由書

・様式第１５第１表、第３表、第５表のうち変更する内容及びその見え消し版

提出時期

変更後遅滞なく(可能な限り小売事業変更申請以前)

記載例 19　「供給計画の変更」

変更理由書（一例）

令和○○年○○月○○日（予定）に、新設により○○団地を追加するため供給計画変更届出書を提出いたします。

変更箇所

第１表、第３表、第５表

コミュニティーガス事業

ガス小売事業申請書・届出書記載例

令和５年　月　日　　初版発行

編集発行　一般社団法人　日本コミュニティーガス協会

https://www,jcga-page.or.jp

〒105-0012

東京都港区芝大門１－１－３０（芝 NBF タワー１階）

☎　０３－５４０５－２２１５

コージェネ財団 かわら版［スマートアクション］ 2022年12月 Vol.43

Smart Action

事例で知る
エネファーム
販売の知恵

2022年度
第5回業務委員会
資料№7-1

エネルギー収支ゼロを実現する家づくりでエネファームを積極採用

2021年10月に「第6次エネルギー基本計画」が閣議決定され、2050年カーボンニュートラルに向けたトランジション期の2030年には、エネファームを累計300万台普及させる方針となっています。省エネ・創エネに寄与し、環境性に優れたエネファーム普及の取り組みは、ますます重要性を増していくでしょう。こうした中、「ゼロカーボンシティ」を掲げる開成町（神奈川県）では、積水ハウス様のZEH住宅「グリーンファーストゼロ」をベースにした分譲タウン「コモンステージ開成」の開発が進められ、小田原ガス様とのアライアンスのもと、エネファームの採用が進んでいます。本物件の取り組みについてお話をうかがいました。



積水ハウス株式会社
湘南支店
営業Ⅰ課店長／スペシャリスト
林田 卓也 さま



小田原ガス株式会社
営業部 部長
小嶋 尊志 さま

ゼロカーボンシティをめざす開成町

1913年（大正2年）の創業以来、地域のお客さまに都市ガスを提供し続けている小田原ガス様。小田原市・箱根町・大井町・開成町・二宮町・南足柄市をホームタウンに、エネルギー供給はもとより、「環境にやさしい暮らし」のお手伝いを通じて、地域の健全な発展に貢献しています。今回、「コモンステージ開成」が開成町に誕生した背景と、積水ハウス様とのアライアンスについて、小田原ガス様におけるキーマンのお一人、小嶋営業部長にご説明いただきました。

「開成町は『ゼロカーボンシティ』を表明している町で、2050年までにCO_2排出量実質ゼロを実現することを目的に『ゼロカーボンシティ創成補助制度』を設けていて、ZEHの街づくりを積極的に後押ししています。令和4年9月からは全国市町村で初めて、国による住民向けの脱炭素補助金を町の窓口で扱えるようになっており、『脱炭素ドミノ』の起点として創・省・蓄エネの取り組みを加速化させる環境が整いました。

一方、本物件は、もともとは小田急不動産様が造成工事を行った分譲地で、無電柱化エリアを設けるなど景観にも力を入れ、一定数の販売に至った後、積水ハウス様が約70区画を購入されて誕生しました。小田原ガスとしては、エネファームを通じてこのようなまちづくりのお手伝いをしたいという思いが強くありました」（小嶋さま）。

都市ガス宅の84%にエネファームを採用

小嶋さまは、15年以上前にハウスメーカー様への営業担当となり、地道な営業活動や勉強会のサポートなどを通じて、積水ハウス様と長く信頼関係を構築してこられました。そうしたパイプもあり、「コモンステージ開成」においてZEH住宅「グリーンファーストゼロ」を展開する積水ハウス様とのアライアンスが実現。2022年10月現在、本物件において都市ガス採用件数25件のうちエネファーム採用件数が21件と、84%もの高い採用率に至っているそうです。

「おかげさまで、私の方がエネファームをどうですかというよりも、積水ハウス様の営業の方々がエネファームを推奨してくださり、結果につながりました。また、エネファームのみならず、他の商

材においても成果が出ています。例えば、ガス衣類乾燥機「乾太くん」の受注が市場で伸びている中、積水ハウス様がお客さまの声に耳を傾けてくださり、本物件にも「乾太くん」を早々に導入していただきました。それに伴って弊社でも、エネファームと「乾太くん」、さらに床暖房のセットプランを準備させていただいて、エネファームご採用の21件のうち9件にセットプランをご採用いただくことができ、他では考えられないような成果が得られました」(小嶋さま)。



モデルハウスの外観

ゆとりある敷地で施工もスムーズに

販売が順調に推移する中、施工の視点からは、エネファームの設置等において苦労されたことはなかったのでしょうか。小嶋さまは次のように言います。

「先にご説明したように、本物件は、小田急不動産様が造成されたエリアを積水ハウス様がご購入され、分譲されているわけですが、近年こうした場合には、もともと2区画だった分譲地を3～4区画にするなど細分化して分譲する傾向があります。ところが本物件は逆で、区画をまとめより広い区画割に再設計されているのです。そのため、敷地に非常に余裕があり、エネファームの搬入・設置に関しても苦労する点は全くありませんでした」。



ZEH住宅としてだけでなく、ゆとりある暮らしを実現する広い敷地や、植栽まで配慮したデザインにもこだわった「コモンステージ開成」は、エネファームとの相性も抜群。環境配慮型のまちづくりモデルとして、さらにアライアンスを深め、付加価値をご提供して、今後のエネファーム営業にも活かしていきたいと小嶋さまは語ってくださいました。

「グリーンファーストゼロ」でZEH住宅の比率91％に

次に、積水ハウス様の環境に対する方針やZEH住宅の展開について、湘南支店営業Ⅰ課店長の林田さまにうかがいました。

「弊社では、地球温暖化に対するCO_2オフという考え方に基づき、2013年にZEH住宅が始まると同時に、エネファームの採用を含めたZEH住宅『グリーンファーストゼロ』を発表させていただきました。『グリーンファーストゼロ』は、開放的で快適な暮らしを維持しながら、高い断熱性と省エネ設備、そして先進の創エネ設備により、エネルギー収支ゼロを目指す住宅です。ZEH推進の取り組みは順調に推移し、2020年には、弊社で建てていただいた住宅の91%がZEHとなっています。その中で、都市ガスが普及しているエリアにおいては、弊社としても『都市ガス+エネファーム』という意識が浸透しています。ZEHの考え方がそもそも『最先端の技術によって快適に暮らしながら、かつCO_2オフにつながるもの』であるため、都市ガスのご提案をする際にはエネファームをご提案するのが主流になっているのです」(林田さま)。

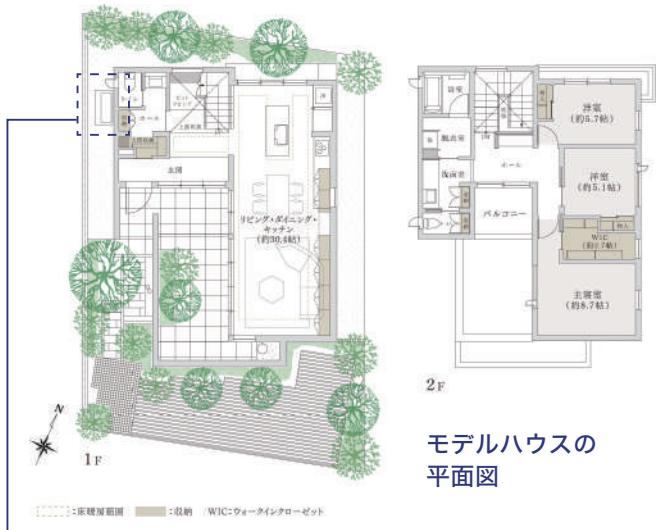
カーボンニュートラルの目標として日本は、2030年度において温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指すことを表明していますが、積水ハウス様は、その2030年の基準に対しても住宅の標準仕様を先取りした形となっていると言えそうです。

「電気を買う量」を減らすライフスタイルへ

そんな先進のZEH住宅をベースにした「コモンステージ開成」。豊かな自然と利便性を兼ね備えたまちで、一区画50～70坪をメインとする広く景観のよい住環境と、“長く住み継がれる、価値ある住まい”を提案しています。モデルハウスは、ダインコンクリートと石張りの美しい外観。プライバシーを大切にするコートハウスでありながら、中庭計画や天井高2,700㎜のシームレスな空間設計で解放感を高めています。間取りは、広々とした3LDKにリモートワークの空間にもなるピットリビングなどもプラス。エネファームはもちろん、太陽光発電と蓄電池も備えた理想的なZEH住宅となっています。

魅力の多い住まいですが、お客さまは、とくに何に共感して購入されているのでしょうか。林田さまは次のように話します。

「少し昔であれば、ほぼ近隣地域の方しかお求めにならないエリアだったかもしれませんが、コロナ禍を背景に、もともと開成町を検討されていなかったお客さまが購入されるケースが増えています。モデルハウスを見学に来られて住宅はもちろん、敷地の広さや、自然環境が感じられる街並みなどを気に入っていただいて購入される方が多いです。そのような方にエネファームのご説明をさせていただくと、環境に対する部分も含めて共感していただける傾向があると思います」。



モデルハウスの平面図



設置状況

ライフラインや設備に対し、お客さまの意識も変化

林田さまは、東日本大震災後、計画停電や非常時のレジリエンスへの観点から、お客さまのライフラインへの意識が変化してきたと付け加えます。また昨今、電気料金がかなり値上がりしており、「電気を買う量」を減らすライフスタイルが求められてくるのではないかとのこと。

「エネファームを採用いただくと、まずはエネファームで発電した電気を使い、足りなければ太陽光の電気を使って、それでも足りない場合に電気を買うという順序になるので、高い電力の購入量が少なくて済みます。また、太陽光発電を採用して ZEHを実現しようとした時に、エネファームを採用した場合と、オール電化でのエコキュートの場合を比較すると、エコキュートは発電しないので太陽光発電の容量を1.2キロワット程度増やす必要があり、その部分でもコスト差は変わってきます。そうしたご説明をさせていただくと、さらに共感いただけるように感じています」。住まいの設備については、床暖房や、ガス衣類乾燥機「乾太くん」の採用率も高まっているそうです。背景として、ネット環境の影響も大きいのではないかと林田さまは話します。

「SNSなどで情報を集めたり勉強されているお客さまが多く、『床暖房にして良かった』といったクチコミも参考にされていて、お客さまのほうから床暖房を、さらには『乾太くん』をご希望いただくことも増えてきています。生活スタイルが変化し、共働きも増えて、あるいは花粉症の方など、今は洗濯物を室内干しされる方が多いので、『乾太くん』が知られるようになったのではないでしょうか。本物件では、エネファームと床暖房と『乾太くん』のセットプランをつくって採用につなげています」。



光熱費シミュレーションをエネファーム提案に活用

エネファームをお客さまに説明する際、具体的にどのようなアプローチをされているのかも気になるところ。そのカギは、光熱費シミュレーションによるお客さまごとへのご提案にあると林田さまは言います。

「毎月かかるランニングコストについて、例えば、太陽光発電を入れた場合と入れない場合の差や、エネファームとオール電化の差などを“見える化”したうえで、床暖房や『乾太くん』を含めたご提案をさせていただいています。エコキュートとエネファームのランニングコストを比較しても、ご家族の人数や住宅の規模・使い方にもより年間で 5〜6万円くらい、10年間で 50〜60万円くらい差が出てくる計算になります。また、エネファームや太陽光を入れると住宅ローンが増え、毎月の支払いが 4千円くらい増えたりする一方で、月々の電気代はそれ以上減ったりするわけです。住宅ローンも光熱費も両方固定費で、どちらに払うかの違いだけであり、むしろエネファームや太陽光発電を入れた方が毎月の出費が少なくなる。そうした説明をさせていただいてお客さまにご選択いただくようにすると、共感していただけるケースが多いです。営業パーソンへの勉強会においても、光熱費シミュレーションを使ったロールプレイを大事にして、お客さまに対するご提案の質を高めるべく取り組んでいます」（林田さま）。





入居後の光熱費を含む満足度は95.8%

もう一つお聞きしたいのは、入居されたお客さまの声についてですが、林田さまによれば、本物件のお客さまへの満足度アンケートにおいて、「光熱費を含む総合満足度」は、「非常に満足」と「満足」を合わせて 95.8%と、非常に高い満足度の数値となっています。

「実際にお客さまの生活が始まって、シミュレーションの値より光熱費が高くなったらどうしようと正直少し不安もあったのですが、ご採用いただいたお客さまから不満の声はありませんでした。お客さまは賃貸に住まれていた方がほとんどで、以前より家が大きくなるため本来なら光熱費がかなり高くなるところを、シミュレーション通りに光熱費を抑えることができ、『エネファームを採用してよかった』と思っていただけたのではないかと思っています。エネファームの操作に関しては、太陽光発電も含めてHEMSでパナソニックさんの AiSEGを採用しています。家全体や各部屋でどのくらいの電気を消費しているかを"見える化"することは、子供の教育にも良いと言われていますし、無駄な電力の消費を抑えようという意識や行動にもつながると思います」（林田さま）。

今後はレジリエンスがより求められる流れに

積水ハウス様における「環境配慮型住宅」の今後の方向性についてもうかがいました。今後、レジリエンスがより求められ、エネファームとともに蓄電池の採用も進んでいくのではないかと林田さまは話します。

「台風をはじめ自然災害が非常に増えてきている中で、ブラックアウトからのインフラ復旧には最大5日間かかるとされています。そうしたレジリエンスの観点をふまえ、積水ハウスでは、エネファーム、太陽光電池、蓄電池を組み合わせて災害時のエネルギーも確保できる防災住宅も準備させていただいています。この住宅では、停電時でも自立分電盤のレバーを切り替えるだけで、太陽電池、エネファームの電力を普段のコンセントでお使いいただけます。ただ現状、お客さまの多くは、太陽光発電はなんとなく理解されていても、蓄電池と燃料電池との判別があまりできていないかもしれません。蓄電池は当モデルハウスでも採用していますが、コストの割に、イメージとしては非常時の備えのみになっている部分もあります。そこで私見ですが、新築時には燃料電池を採用し、10年後に電力の買取単価が下がったりしたときに蓄電池を活用して"買う電気"を少なくするシステムがあれば、よりいいのかなとも思います」（林田さま）。

コストとコンパクト化の対策に期待

最後に、林田さまにエネファームの今後に期待されることをお聞きしたところ、コスト面と、設置のしやすいサイズについてご意見を頂戴しました。

「ここ数カ月、食料から何から原価が高騰している状況でもあり、やはり、コストアップするのが心配です。イニシャルコストが上がるのなら、それに伴って性能もアップして光熱費をより削減できるといったことも求められてくるでしょう。あとは、もう少し小型化するといいかもしれません。ここの分譲地は土地が広く、地区計画もあって隣地と1m以上離したりしているのでエネファームの設置もしやすいですが、他では隣地との距離がそこまで取れないケースもありますので、より高性能でコンパクトなものが出てくると、ご提案もしやすくなり、採用の機会がより増えるのではないでしょうか」（林田さま）。



コージェネ財団 一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター 燃料電池室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-4 アーバン虎ノ門ビル4階　TEL.03-3500-1612　FAX.03-3500-1613
https://www.ace.or.jp/fc/

○ 発行日　2022年12月6日
○ 発行者　一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター　燃料電池室
○ 制　作　東京ガスコミュニケーションズ株式会社

2022年度
第5回業務委員会
資料№7-2

２０２３年１月５日

ウィズガスCLUB主催「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト」終了のお知らせ及び記念誌斡旋のご案内

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ウィズガス CLUB※主催の『ウィズガス全国親子クッキングコンテスト』は食生活に関わる子供たちの健康を取り巻く問題等の課題に対し、何か貢献できることはないかと考え 2007 年から始動しました。本コンテストを通じて審査委員の先生方、学校や行政関係者のみなさまと連携しながら“料理の楽しさ”や“食の大切さ”など家庭での食育を訴求・推進して参りました。

15 年間の成果として総勢 46 万組を超える親子にご参加賜り、広く認知いただけたことで前述の課題解決の一助となることができ、また各地区で食に関する様々な活動が発足するなど、全国の食育推進にも寄与できたのではないかと考えております。

この度、各地区に食育活動が根付いた現状等を踏まえ、各地区の幹事事業者並びに構成団体と協議の結果、終了することと致しました。何卒ご理解いただけますと幸いです。

終了に際し、お世話になったステークホルダーの皆様への感謝の意を込めた記念誌を制作致しました。これまでの活動の振り返りやステークホルダーの皆様への御挨拶等にご活用いただければ幸いに存じます。

ご購入を希望される事業者様は、別添の申込要領書をご覧いただき、申込書にて斡旋業者様へ直接お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

敬具

※ウィズガスCLUBは住宅業界、キッチン・バス業界、ガス石油機器業界、ガス体エネルギー業界で構成する企業団体連合(コンソーシアム)です。(事務局：一般社団法人日本ガス協会)

【別添資料】
①「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト記念誌」申込要領書
②「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト記念誌」申込書

担当：一般社団法人 日本ガス協会
普及部　業務推進グループ　椙江　野口
問合せ先：０３－３５０２―０１９４

２０２３年1月５日

「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト記念誌」　申込要領書

１．内容体裁

・Ａ４サイズフルカラー印刷冊子

・４４ページ

２．価格

・記念誌単価：３３０円／1 冊（税別）　※１０部単位でお申込ください

・梱包料金　：５００円／1 包（税別）

・発送料金：

◆１０部／１包での発送：ヤマト運輸、８０サイズ

南東北、関東、中部	梱包数 × １,５００円（税別）
北東北、近畿、中国	梱包数 × １,８００円（税別）
四国、九州、北海道	梱包数 × ２,０００円（税別）
沖縄	梱包数 × ２,２００円（税別）

◆２０～５０部／１包での発送：ヤマト運輸、１４０サイズ

南東北、関東、中部	梱包数 × １,８００円（税別）
北東北、近畿、中国	梱包数 × ２,１００円（税別）
四国、九州、北海道	梱包数 × ２,３００円（税別）
沖縄	梱包数 × ２,５００円（税別）

◆６０～１００部／１包での発送：ヤマト運輸、１６０サイズ

南東北、関東、中部	梱包数 × ２,０００円（税別）
北東北、近畿、中国	梱包数 × ２,３００円（税別）
四国、九州、北海道	梱包数 × ２,５００円（税別）
沖縄	梱包数 × ２,７００円（税別）

※別途消費税がかかります。

※１００部/１包の発送は重量がおよそ２５kg となります。
持ち運びには十分ご注意ください。

３．申込方法

① 添付の申込用紙にて、下記受付事務局宛てに直接お申込みください。

受付事務局　：株式会社ジェイツウ（担当：吉田様）
住所　：〒１３５-００４６
東京都江東区牡丹１－１２－７　エムズハウス１０１
メール　：t-yoshida@j2000.co.jp
ＦＡＸ　：０３－５８７５－９９３２
問合せ先　：メールまたはＴＥＬ（０１２０－５００－１５６）まで

② 申込〆切および発送予定

◆申込〆切

記念誌の申込〆切は、下記３回に分けさせていただきます。

【１回目】
申込〆切：２０２３年１月３１日(火)まで
【２回目】
申込〆切：２０２３年２月２８日(火)まで
【最終３回目】
申込〆切：２０２３年３月１５日(水)まで
◆発送予定
各回の申込〆切から約７日後を目処に発送いたします。

４．お支払い手続き
制作担当である株式会社大広様よりご請求させていただきますので、請求書に記載の口座にお振込みくださいますようお願いいたします。
請求書は、各回の申込〆切から約２週間後を目処に大広様から直接郵送いたします。

以上

お申込日：　　年　　月　　日

■申込受付事務局
株式会社ジェイツウ（担当：吉田様）
E-mail ：t-yoshida@j2000.co.jp
FAX ：０３－５８７５－９９３２

「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト記念誌」申込書

〈お申込者情報〉

事　業　者　名					
申込担当	部 署 名				
	担当者名				
	TEL／FAX	TEL.		FAX.	
	E－mail				
	住　　所	〒			
請求先 ※申込担当宛と異なる場合は記載して下さい	部 署 名				
	担当者名				
	TEL／FAX	TEL.		FAX.	
	E－mail				
	住　　所	〒			
※請求書発行のために必要となります	お支払いサイト	毎月		締め	払い
発送先 ※申込担当宛と異なる場合は記載して下さい ※宛先を別紙提出での対応も可能です	部 署 名				
	担当者名				
	TEL／FAX	TEL.		FAX.	
	E－mail				
	住　　所	〒			

申込〆切　【１回目】２０２３年１月３１日(火)まで 【２回目】２０２３年２月２８日(火)まで 【最終３回目】２０２３年３月１５日(水)まで

お 申 込 内 容	単価		お申込数		お申込金額	消費税	合計金額
ウィズガス全国親子 クッキングコンテスト記念誌 お申込みは10部単位	1部	330 円		部	0 円	0 円	0 円

※別途、梱包料・発送料がかかります
※お申込いただいた記念誌は、各回の申込〆切から約７日後を目処に発送いたします。

ウィズガス

ぜんこくおやこ

全国親子クッキングコンテスト



記念誌

第1回　2007 ▸ 第15回　2021

ウィズガスCLUB

ウィズガス全国親子クッキングコンテスト概要

ウィズガス
全国親子クッキングコンテスト
炎の調理で五感を研ぎ澄ます

ウィズガス全国親子クッキングコンテストは、親子が一緒に調理することで、料理の楽しさや食の大切さなど食への関心を高め、家庭での食育を進めることを目的に実施して参りました。
全国各地で行われる地区大会を経て、全国大会を開催し、「親子のチームワーク」・「おいしさ」・「わが家ならではの工夫」・「ガスならではの調理方法」・「エコへの配慮」の5つの観点から、グランプリを決定いたしました。
本コンテストは2007年からスタートし、皆様方からのご支援のおかげで15年の長きにわたり開催することができました。近年では、テレビやメディアに取りあげていただいたり、夏休みの宿題や小学校の家庭科授業の課題になるなど世間の認知度も拡大した結果、第12回大会は最多となる60,747組の応募をいただきました。
コンテストの開催を通じて、家族のコミュニケーションや団らんの機会を創出し、「食育」に対する意識の向上に貢献いたしました。

開催概要（第13回大会時）

名称	ウィズガス全国親子クッキングコンテスト　— 炎の調理で五感を研ぎ澄ます —
募集テーマ	「わが家のおいしいごはん」～家族で一緒に作ろう、うちの自慢メニュー～
参加資格	親（保護者）と子（小学1年生～6年生）の2名1組
調理の条件等	食材費：2,000円程度（4人分）　調理時間：60分（盛り付け時間を含む） ※レシピは未発表のもの　※メニューは上限5品目　※ガスならではの調理方法を活用
選考方法	応募用紙による書類審査、実技審査
審査基準	親子のチームワーク・おいしさ・わが家ならではの工夫・ガスならではの調理方法・エコへの配慮
主催	ウィズガスCLUB 一般社団法人 住宅生産団体連合会／キッチン・バス工業会／一般社団法人 日本ガス石油機器工業会／日本ガス体エネルギー普及促進協議会
後援	総務省／文部科学省／農林水産省／全国小学校家庭科教育研究会




親子クッキング



Cooking Studio
















応募総数 2,008組

第1回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト 全国大会

開催日：2008年3月9日（日）／ 開催場所：東京・東京ガス新宿ショールーム ／ 出場者数：12組24名

第1回 ウィズガス
全国親子クッキングコンテスト
～炎の調理で五感を研ぎ澄ます～



【2007年度の出来事】 2007年4月～2008年3月

- 新潟県中越沖地震発生。
- 安倍首相辞任、福田康夫内閣発足。
- 郵政民営化スタート。
- 浅田真央、世界フィギュア初優勝。











ウィズガスCLUB主催の『ウィズガス全国親子クッキングコンテスト』は偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など子どもたちの健康を取り巻く問題等の課題に対し、何か貢献できることはないかと考え、2007年から始動しました。

記念すべき第1回は2,008組の応募があり「家族みんなで食べる“あったかメニュー”」をテーマに予選を勝ち抜いた12組24名の親子が料理の腕を競いました。集まった親子は素晴らしいチームワークで、食材のおいしさを生かし、家族への愛情をたっぷり込めた自慢の料理を披露。会場にはご家族や親戚のみなさん、また地元のガス会社スタッフなどたくさんの人が応援に駆けつけ、大変盛り上がった一日となりました。調理の様子をみていて驚かされたのは、親子のチームワークと手際の良さです。お母さんが野菜の皮をむくあいだに子どもが豆を炒る、子どもが具をつめたパプリカにお父さんが仕上げの油を塗る。どの親子も見事な役割分担と流れ作業。この日に向けて、どのチームも親子でしっかりとコミュニケーションを取り、練習を積み重ねてきたことがうかがえました。それに、子どもたちのなんと落ち着いていること！調理の手順もばっちり体で覚え、むしろ親御さんよりもあわてることなく、料理を楽しんでいます。

審査のポイントは、「おいしさ」「オリジナリティ」「調理法」「チームワーク」の４項目。審査にあたったのは、服部栄養専門学校校長の服部幸應氏、医学博士・管理栄養士の本多京子氏、脳科学者の茂木健一郎氏の３氏です。みなさんが「本当に接戦だった」「差はわずか、全員に賞をあげたかった」とおっしゃった審査の結果、グランプリには北海道地区代表の関崎聖子さん・心さん親子が選ばれました。

全国大会受賞者

グランプリ（ウィズガスCLUB賞）

北海道地区代表　関﨑 聖子さん ／ 関﨑 心さん（小学3年生）

直火焼き野菜パンのお気楽エコランチ




準グランプリ（住宅生産団体連合会賞）

関東中央地区代表　山本 直さん ／ 山本 丸楠さん（小学1年生）

ごつごつ（骨骨）サッカー強化メニュー




準グランプリ（キッチン・バス工業会賞）

関東中央地区代表　安田 智枝さん ／ 安田 百那さん（小学3年生）

カレーなるフォンデュ




準グランプリ（日本ガス石油機器工業会賞）

九州地区代表　小寺 邦子さん ／ 小寺 日菜子さん（小学5年生）

長崎和華蘭げんこつなべ、きなこおはぎ




全国大会出場者

東北地区代表	星野 晴美さん ／ 星野 まどかさん(小学4年生)	近畿地区代表	斎藤 幸子さん ／ 斎藤 美晴さん(小学4年生)
関東中央地区代表	中村 依江さん ／ 中村 樹乃さん(小学5年生)	近畿地区代表	浅田 希さん ／ 浅田 愛美さん(小学4年生)
東海地区代表	横井 裕子さん ／ 横井 胡桃さん(小学3年生)	中国地区代表	稲干 由里子さん ／ 稲干 みのりさん(小学6年生)
北陸地区代表	吉田 英吏子さん ／ 吉田 朱里さん(小学5年生)	四国地区代表	武市 良美さん ／ 武市 創大朗さん(小学2年生)

審査委員



審査委員長
服部 幸應 様

学校法人 服部学園 理事長、服部栄養専門学校 校長、医学博士

審査委員長からのひとこと

さすが全国からの代表とあってみなさん素晴らしかった。みんなに賞をあげたかったですが、その中でも地域の食材を活かしているか、親子のコンビネーションはどうか、という点に注目して審査をしました。次回もぜひまた挑戦してほしいと思います。

審査委員
本多 京子 様

医学博士・管理栄養士

審査委員からのひとこと

親として大切なことは、子どもに対する「目くばり」「気くばり」「声がけ」。今日のコンテストではみなさんにそういう姿が見えました。親子の絆を感じました。



審査委員
茂木 健一郎 様

脳科学者

審査委員からのひとこと

私は、みなさんが調理しているテーブルを回りながら、親子の何気ない会話やちょっとした作業の工夫など、気づいたことを詳細にメモしていました。そして、そこに点数をつけるとき、何かが裏切られるような気分になりました。どの親子にとっても今日はきっと宝物のような時間です。5年後、10年後に、今日という日が大きく育つよう願っています。

表彰式の前には、審査委員3氏が食育について語るトークショー「子どもの未来のために語る食育セミナー」が開催されました。一般のお客様も多数来場された中、子どもにとっての豊かな食体験の大切さ、食糧自給率を改善するには、心の問題と食の関係、料理を自分で作ることの大切さなど、食の現状とこれからをめぐるさまざまなテーマについて、意見が交わされました。

2022年度
第5回業務委員会
資料№8-1

2023/1/18

ENEOSグローブ株式会社

事業用原料の需給・価格動向について（海外マーケット動向）

1.当面の原油動向

12月の原油市況は下落。上旬にはＦＲＢが金融引き締めのペースを引き上げるとの観測から米景気の悪化が懸念され原油が売られた。13日にはＯＰＥＣ月報で2023年度の石油需要見通しが引き上げられたことを受け、価格は上昇。しかしながら、世界景気の減速懸念は払拭されず上値は重かった。1月に入り、中国のゼロコロナ政策の緩和、ドル安による原油への資金の流入も背景に上昇基調にある。

($/BBL)	9月	10月	11月	12月	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/16	12月対比
WTI	83.8	87.0	84.4	76.5	74.6	75.1	77.4	78.4	79.9	NA	(+3.4)
BRENT	90.6	93.6	90.9	81.3	79.7	80.1	82.7	84.0	85.3	84.5	(+3.2)
OMAN	90.6	90.7	86.5	77.4	77.2	76.2	77.0	79.7	81.1	81.1	(+3.7)

2.ＬＰＧ（ＣＰ）の動向

２月ＣＰ予想は、Ｐ：＄650、Ｂ：＄665で推移。２月積カーゴについては、売り手買い手ともプレーヤーが見えてはいるが、アクセプタンス通知を控え商談入りを急いでいない状況。供給面においては、ADNOCが2～３月に基地定修、3～４月に貯蔵タンクの定修を控え、ARAMCOも２月にヤンブーの製油所の定修を行う予定。QP・KPCにもスポット販売余力があり、現時点では需給はバランスしている模様。しかしながら、ブタン付カーゴが相対的に少ないため、今後プロパン・ブタン格差は拡大する可能性もある。

【ＬＰＧ価格推移（ＣＰ）】

＄／トン

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プロパン	2020FY	230	340	350	360	365	365	375	430	450	550	605	625
	(ＡＬ等価比)	75%	219%	172%	125%	102%	98%	108%	130%	127%	136%	134%	123%
	2021FY	560	495	530	620	660	665	800	870	795	740	775	895
	(ＡＬ等価比)	104%	94%	95%	103%	108%	112%	129%	127%	119%	120%	108%	116%
	2022FY	940	850	750	725	670	650	590	610	650	590		
	(ＡＬ等価比)	101%	96%	85%	75%	75%	75%	71%	77%	92%	87%		
ブタン	2020FY	240	340	330	340	345	355	385	440	460	530	585	595
	(ＡＬ等価比)	80%	222%	165%	120%	98%	97%	111%	135%	132%	133%	131%	119%
	2021FY	530	475	525	620	655	665	795	830	750	710	775	920
	(ＡＬ等価比)	100%	91%	95%	105%	108%	114%	130%	123%	114%	117%	110%	121%
	2022FY	960	860	750	725	660	630	560	610	650	605		
	(ＡＬ等価比)	104%	98%	86%	76%	74%	73%	69%	78%	93%	90%		

【スポット市況】

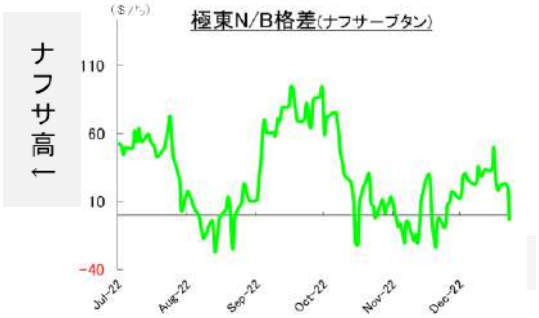
＄／トン

		12月平均	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/16	12月対比
ＣＦＲ日本	P	624	NA	639	641	668	687	672	(+48)
	B	626	NA	654	656	683	702	687	(+61)
米国	P	357	388	399	413	425	424	424	(+67)
	B	425	469	481	514	510	497	497	(+72)
＝参考＝									
極東ナフサ	$/トン	639	638	652	672	677	703	703	(+64)
タンカー(中東-日本)	$/トン	136.8	78.0	80.6	83.0	82.3	81.7	80.7	(▲56.1)

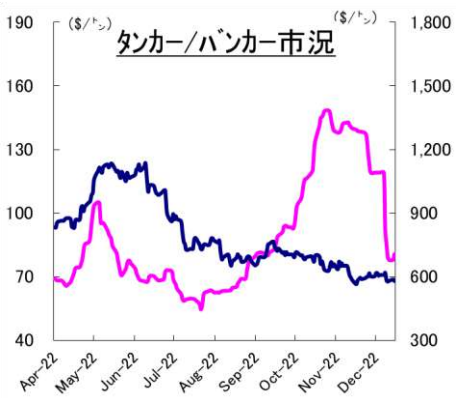
3.ＬＰＧフレート動向

中東フレートは、12月初旬に中東・インド勢の用船需要により船腹需給が逼迫フレートは急上昇した。パナマ運河の滞船日数は、10月から20日以上で高止まりしていたが、12月前半には滞船日数が大幅に短縮されたことから、米国フレートは下落した。１月後半積の船腹需要は少なく、市況は下落基調。２月アクセプタンス待ちの状況であり、積極的な用船者は見当たらない。

【ナフサ／ブタン格差】



【タンカー市況】



ピンク（左軸）：フレート

紺（右軸）：バンカー（適合油）

2022年度
第5回業務委員会
資料№8-2

原 料 価 格 推 移 表

年・月	プロパン価格(円) 10㎥ 小売価格	プロパン価格(円) 10kg 卸売価格	CIF価格(速報・プロパン) 対前月比	CIF価格(速報・プロパン) 円／トン	為替レート 対前月比	為替レート 円／ドル	FOB価格(CP・ドル／トン) 対前月比	FOB価格(CP・ドル／トン) プロパン	FOB価格(CP・ドル／トン) 対前月比	FOB価格(CP・ドル／トン) ブタン	FOB価格(MB・ドル／トン) 対前月比	FOB価格(MB・ドル／トン) プロパン	FOB価格(MB・ドル／トン) 対CP
2020年1月			+4,365	54,926	+0.14	110.38	+125	565	+135	590	−21	258	−307
(R 2年)2月	7,890	1,230	−1,332	53,594	+0.60	110.98	−60	505	−45	545	−50	208	−297
3月			−7,771	45,823	−2.57	108.41	−75	430	−65	480	−4	204	−226
4月	7,893	1,155	−8,762	37,061	+0.55	108.96	−200	230	−240	240	−36	168	−62
5月			−1,937	35,124	−0.61	108.35	+110	340	+100	340	0	168	−172
6月	7,845	1,077	+411	35,535	+0.20	108.55	+10	350	−10	330	+44	212	−138
7月			+2,832	38,367	−0.71	107.84	+10	360	+10	340	+44	256	−104
8月	7,846	1,108	+1,382	39,749	−0.79	107.05	+5	365	+5	345	+2	258	−107
9月			−191	39,558	−0.29	106.76	0	365	+10	355	+13	271	−94
10月	7,836	1,107	+936	40,494	−0.49	106.27	+10	375	+25	380	−14	257	−118
11月			+3,982	44,476	−0.86	105.41	+55	430	+60	440	+13	270	−160
12月	7,844	1,165	+3,020	47,496	−0.57	104.84	+20	450	+20	460	+15	285	−165
2021年1月			+9,222	56,718	−0.15	104.69	+100	550	+70	530	+50	335	−215
(R 3年)2月	7,876	1,301	+4,741	61,459	+1.68	106.37	+55	605	+55	585	+117	452	−153
3月			+4,432	65,891	+3.26	109.63	+20	625	+10	595	+15	467	−158
4月	7,941	1,355	+191	66,082	+0.51	110.14	−65	560	−65	530	+13	480	−80
5月			−3,451	62,631	+0.06	110.20	−65	495	−55	475	−44	436	−59
6月	7,952	1,319	+214	62,845	+0.93	111.13	+35	530	+50	525	−9	427	−103
7月			+6,221	69,066	+0.18	111.31	+90	620	+95	620	+77	504	−116
8月	7,982	1,412	+5,190	74,256	−0.46	110.85	+40	660	+35	655	+63	567	−93
9月			+1,991	76,247	+0.32	111.17	+5	665	+10	665	+10	577	−88
10月	8,099	1,520	+11,129	87,376	+2.94	114.11	+135	800	+130	795	+96	673	−127
11月			+9,668	97,044	+1.03	115.14	+70	870	+35	830	+80	753	−117
12月	8,323	1,660	−5,414	91,630	−0.26	114.88	−75	795	−40	790	−97	656	−139
2022年1月			−3,075	88,555	+0.97	115.85	−55	740	−80	710	−119	537	−203
(R 4年)2月	8,436	1,612	+159	88,714	+0.37	116.22	+35	775	+65	775	+69	606	−169
3月			+10,069	98,783	+3.31	119.53	+120	895	+145	920	+72	678	−217
4月	8,558	1,756	+9,412	108,195	+7.45	126.98	+45	940	+40	960	+64	742	−198
5月			+5,646	113,841	+2.83	129.81	−90	850	−100	860	−68	674	−176
6月	8,789	1,758	−7,490	106,351	+5.12	134.93	−100	750	−110	750	−35	639	−111
7月			+1,641	107,992	+2.86	137.79	−25	725	−25	725	−7	632	−93
8月	8,814	1,712	−10,020	97,972	−1.55	136.24	−55	670	−65	660	−35	597	−73
9月			+2,267	100,239	+7.85	144.09	−20	650	−30	630	−25	572	−78
10月	8,819	1,762	−5,866	94,373	+4.10	148.19	−60	590	−70	560	−54	518	−72
11月			+167	94,540	−4.71	143.48	+20	610	+50	610	−95	442	−168
12月	8,885(速報)				−7.39	136.09	+40	650	+40	650	−2	440	−210
2023年1月							−60	590	−45	605	−83	357	−233
(R 5年)2月													
3月													

(注) 1. 小売価格は、「経済産業省モニター調査」の全国平均値である。平成15年10月以降は、隔月発表の石油情報センターの資料による。
2. 卸売り価格は、(財)日本エネルギー経済研究所石油情報センターの資料による。(H3. 9以降隔月調査に変更)
3. 「CIF価格」は、財務省貿易統計の速報値である。

2023/1/16

一般社団法人　日本コミュニティーガス協会　業務部

〔CIF価格〕

財務省貿易統計

※基準平均原料価格は平成21年4月以降に認可申請又は届出された地点群に適用される値です。

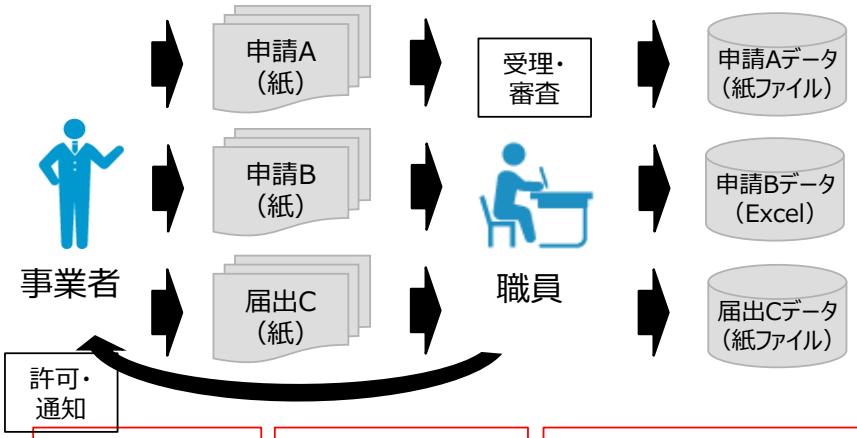
	CIF速報			CIF確報			基準平均原料価格			上限バンド
	数量(MT)	価格(千円)	CIF価格	数量(MT)	価格(千円)	CIF価格	参照期間			(円/t)	(円/t)
2020年1月	804,917	44,210,823	54,926	804,917	43,133,656	53,588	2019年8月	～	2019年10月	42,150	67,440
2020年2月	834,043	44,700,011	53,594	834,043	44,742,153	53,645	2019年9月	～	2019年11月	43,220	69,150
2020年3月	861,995	39,499,481	45,823	861,995	38,188,165	44,302	2019年10月	～	2019年12月	47,280	75,650
2020年4月	755,695	28,006,898	37,061	755,695	28,185,143	37,297	2019年11月	～	2020年1月	50,720	81,150
2020年5月	801,921	28,166,279	35,124	801,921	28,290,998	35,279	2019年12月	～	2020年2月	52,510	84,020
2020年6月	503,136	17,878,931	35,535	503,136	17,855,643	35,489	2020年1月	～	2020年3月	50,930	81,490
2020年7月	754,202	28,936,295	38,367	754,202	29,053,010	38,522	2020年2月	～	2020年4月	45,250	72,400
2020年8月	497,940	19,792,485	39,749	497,940	19,797,399	39,759	2020年3月	～	2020年5月	39,070	62,510
2020年9月	615,671	24,354,838	39,558	615,671	24,475,331	39,754	2020年4月	～	2020年6月	36,080	57,730
2020年10月	579,920	23,483,056	40,494	579,920	24,236,525	41,793	2020年5月	～	2020年7月	36,460	58,340
2020年11月	566,010	25,173,811	44,476	566,010	25,252,153	44,614	2020年6月	～	2020年8月	38,000	60,800
2020年12月	723,614	34,368,680	47,496	723,614	34,368,680	47,496	2020年7月	～	2020年9月	39,190	62,700
2021年1月	974,126	55,250,749	56,718	974,126	54,658,647	56,110	2020年8月	～	2020年10月	40,010	64,020
2021年2月	956,586	58,790,558	61,459	956,586	59,304,245	61,996	2020年9月	～	2020年11月	41,940	67,100
2021年3月	900,142	59,311,489	65,891	900,142	59,236,948	65,808	2020年10月	～	2020年12月	44,850	71,760
2021年4月	715,436	47,277,698	66,082	715,436	46,797,591	65,411	2020年11月	～	2021年1月	50,740	81,180
2021年5月	666,873	41,766,713	62,631	666,873	41,883,947	62,806	2020年12月	～	2021年2月	55,690	89,100
2021年6月	636,436	39,997,059	62,845	636,436	40,061,154	62,946	2021年1月	～	2021年3月	61,210	97,940
2021年7月	519,476	35,878,161	69,066	519,476	35,825,787	68,965	2021年2月	～	2021年4月	64,470	103,150
2021年8月	534,179	39,666,139	74,256	534,179	39,636,686	74,201	2021年3月	～	2021年5月	64,760	103,620
2021年9月	633,069	48,269,673	76,247	633,069	48,978,098	77,366	2021年4月	～	2021年6月	63,740	101,980
2021年10月	695,530	60,772,692	87,376	695,530	61,236,067	88,042	2021年5月	～	2021年7月	64,640	103,420
2021年11月	781,805	75,869,727	97,044	781,805	75,477,054	96,542	2021年6月	～	2021年8月	68,370	109,390
2021年12月	802,992	73,578,270	91,630	802,992	73,578,270	91,630	2021年7月	～	2021年9月	73,360	117,380
2022年1月	873,416	77,345,509	88,555	873,416	77,512,700	88,747	2021年8月	～	2021年10月	80,200	128,320
2022年2月	888,946	78,862,166	88,714	888,946	79,200,115	89,094	2021年9月	～	2021年11月	88,170	141,070
2022年3月	982,993	97,102,956	98,783	982,993	97,125,910	98,806	2021年10月	～	2021年12月	92,220	147,550
2022年4月	679,203	73,486,457	108,195	679,203	73,493,806	108,206	2021年11月	～	2022年1月	92,100	147,360
2022年5月	821,093	93,474,150	113,841	821,093	93,154,492	113,452	2021年12月	～	2022年2月	89,640	143,420
2022年6月	690,584	73,444,345	106,351	690,584	73,377,002	106,254	2022年1月	～	2022年3月	92,450	147,920
2022年7月	553,623	59,786,588	107,992	553,623	59,117,087	106,782	2022年2月	～	2022年4月	97,920	156,670
2022年8月	732,313	71,746,394	97,972	732,313	71,546,158	97,699	2022年3月	～	2022年5月	106,350	170,160
2022年9月	687,977	68,962,268	100,239	687,977	68,606,612	99,722	2022年4月	～	2022年6月	109,590	175,340
2022年10月	571,762	53,958,643	94,373	571,762	54,133,530	94,678	2022年5月	～	2022年7月	109,580	175,330
2022年11月	715,775	67,669,260	94,540				2022年6月	～	2022年8月	103,330	165,330
2022年12月							2022年7月	～	2022年9月	101,130	161,810
2023年1月							2022年8月	～	2022年10月	97,440	155,900
2023年2月							2022年9月	～	2022年11月	96,380	154,210
2023年3月							2022年10月	～	2022年12月		

1.ガス事業に係るの電子化化の概要

2022年度 第5回業務委員会
資料№9

- ガスの小売全面自由化を含むエネルギーシステム改革により、ガス事業の事業者数・手続件数は大幅に増加している中、ほぼ全ての手続を紙媒体で実施しているため、行政・事業者双方の負担大。
- また、複数の事業を行う総合エネルギー企業が増加する一方、手続や事業者類型ごとに事業者のデータが散在しており、申請等の情報が法執行・政策立案に十分に活用できていない。
- このため、事業者登録等の各手続をオンライン上で処理するシステムを構築し、行政・事業者双方の業務を効率化するとともに、事業者情報を一元的に管理するデータベースを整備し、事業者データを法執行・政策立案に効果的に活用する。

現状

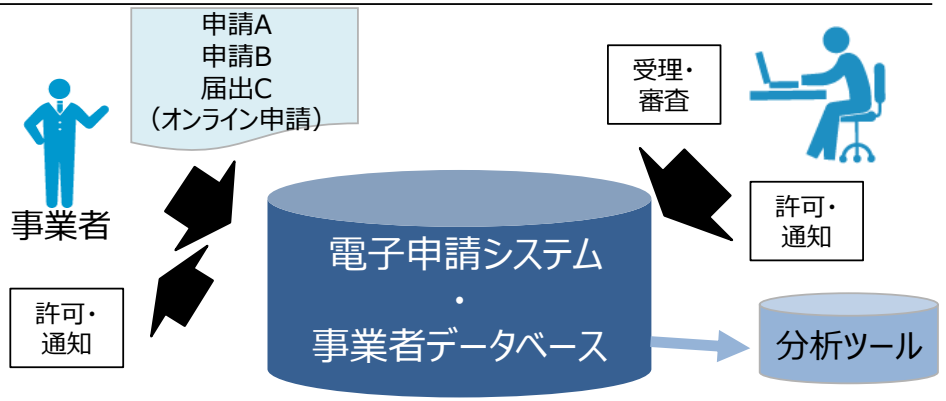


紙媒体の書類作成・提出により事業者の負担大

紙媒体での審査や不備の修正により行政職員の負担大

データが別々に管理されており、同一事業者の情報であっても一元的把握が紐付けできない。多くが紙のファイルであり分析・活用ができない

目指す姿



申請から通知までオンラインシステム上で行うことで、**行政・事業者双方の業務の効率化**

事業者情報を一元的に管理するデータベースが整備されることで、**データ分析や政策立案への活用**が容易に

2. 電子化の全体の動き

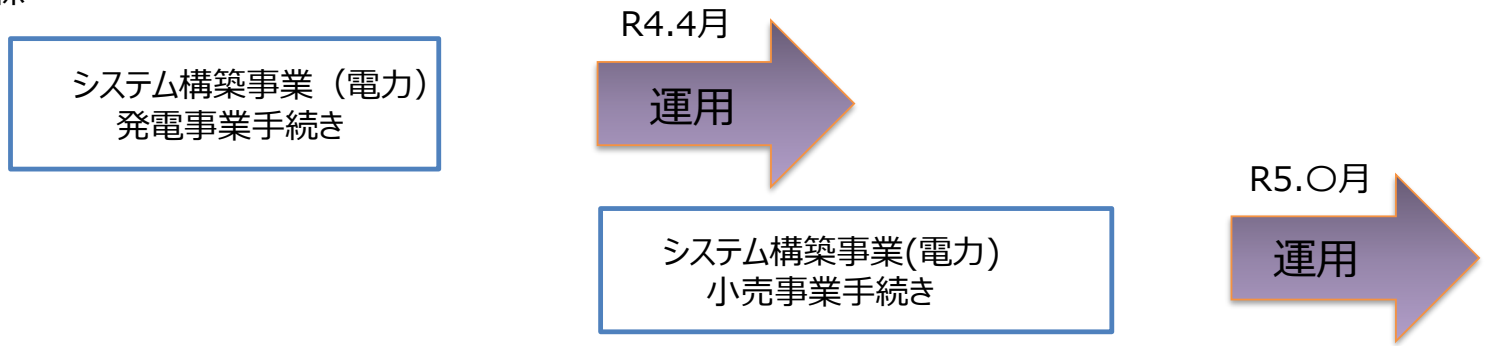
- Ｒ３にガス事業に係る２８手続きの要件定義事業を実施し、Ｒ４には予算制約等を加味し、小売事業関係の手続きについてシステム構築を行い、R5に電ガネットによりリリースする。
  また各申請については当面従前の紙申請との併用とする。
- 今後２８手続きについて段階的にシステム構築を行っていくこととする。

※電ガネット・・・・・電力とガスの手続きについてシステム運用をするポータルサイト。



※要件定義・・・・・・システム構築の前段階として各手続きについてシステム化をするうえでの課題抽出をし、それに対しての解決策を検証してシステム要件を固める。

（参考）電力関係



３．Ｒ４のシステム構築事業

- Ｒ４システム構築は「ガス小売事業変更届出書」「ガス小売事業承継届出書」「ガス小売事業氏名等変更届出書」の3手続＋マスタ管理・編集機能の構築を行い、行政、事業者の手続き業務の効率化などの付加価値を高める。

事業	申請書・手続名
一般ガス導管事業者	一般ガス導管事業許可申請書（様式第30）
	供給区域変更許可申請書（様式第35）
	事業開始届出書（様式第34）※供給区域増区の場合のみを想定
	ガス工作物変更届出書（様式第36）
	氏名等変更届出書（様式第37）
	事業譲渡譲受認可申請書（様式第38）
	合併認可申請書（様式39）
	分割認可申請書（様式40）
	事業休止（廃止）許可申請書（様式第42）
	解散認可申請書（様式第43）
	事業承継届出書（様式第41）
	供給計画届出書（様式第60）
	供給計画変更届出書（様式第61）
ガス小売事業者	ガス小売事業登録申請書（様式第1）
	ガス小売事業変更登録申請書（様式第4）
	ガス小売事業氏名等変更届出書（様式第5）
	ガス小売事業変更届出書（様式第6）
	ガス小売事業承継届出書（様式第7）
	ガス小売事業休止（廃止）届出書（様式第8）
	解散届出書（様式第9）
	供給計画届出書（様式第15）
	供給計画変更届出書（様式第16）
旧簡ガスみなしガス小売（供給地点）事業者	ガス関係報告規則附則様式第4など
特定ガス導管事業者	供給計画届出書（様式第60）
	供給計画変更届出書（様式第61）
製造事業者	製造計画届出書（様式第77）
	製造計画変更届出書（様式第78）
ガス事業共通	ガス事業生産動態調査

2022年度
第5回業務委員会
資料№10-1(参考)

2022年10月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2023/1/11

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）(件)			
	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)
北海道	341	342	▲ 1	▲0.3%	140,929	141,082	▲ 153	▲0.1%	98,253	98,897	▲ 644	▲0.7%	81,636	82,548	▲ 912	▲1.1%	80,329	81,228	▲ 899	▲1.1%
東北	596	599	▲ 3	▲0.5%	152,669	154,313	▲ 1,644	▲1.1%	113,653	114,123	▲ 470	▲0.4%	92,324	93,741	▲ 1,417	▲1.5%	91,035	92,440	▲ 1,405	▲1.5%
関東	2,039	2,057	▲ 18	▲0.9%	518,725	521,431	▲ 2,706	▲0.5%	376,136	378,789	▲ 2,653	▲0.7%	320,827	323,692	▲ 2,865	▲0.9%	317,785	320,618	▲ 2,833	▲0.9%
中部	655	649	6	0.9%	175,024	174,077	947	0.5%	127,794	127,649	145	0.1%	108,000	107,589	411	0.4%	107,398	106,973	425	0.4%
北陸	275	279	▲ 4	▲1.4%	58,616	59,076	▲ 460	▲0.8%	38,171	38,590	▲ 419	▲1.1%	28,479	28,778	▲ 299	▲1.0%	28,234	28,507	▲ 273	▲1.0%
近畿	992	996	▲ 4	▲0.4%	212,792	215,421	▲ 2,629	▲1.2%	152,823	154,457	▲ 1,634	▲1.1%	119,375	120,706	▲ 1,331	▲1.1%	118,608	119,924	▲ 1,316	▲1.1%
中国	593	601	▲ 8	▲1.3%	137,551	139,024	▲ 1,473	▲1.1%	93,495	94,576	▲ 1,081	▲1.1%	75,047	76,226	▲ 1,179	▲1.5%	74,596	75,772	▲ 1,176	▲1.6%
四国	349	350	▲ 1	▲0.3%	71,963	71,574	389	0.5%	56,674	56,869	▲ 195	▲0.3%	42,867	43,065	▲ 198	▲0.5%	42,774	42,971	▲ 197	▲0.5%
九州	1,173	1,179	▲ 6	▲0.5%	302,244	303,144	▲ 900	▲0.3%	227,830	229,213	▲ 1,383	▲0.6%	190,589	192,533	▲ 1,944	▲1.0%	189,529	191,473	▲ 1,944	▲1.0%
沖縄	203	199	4	2.0%	34,397	34,053	344	1.0%	33,896	33,414	482	1.4%	30,040	29,447	593	2.0%	30,017	29,425	592	2.0%
全国	7,216	7,251	▲ 35	▲0.5%	1,804,910	1,813,195	▲ 8,285	▲0.5%	1,318,725	1,326,577	▲ 7,852	▲0.6%	1,089,184	1,098,325	▲ 9,141	▲0.8%	1,080,305	1,089,331	▲ 9,026	▲0.8%

※新規地点群　地点群…　　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比(%)
北海道	344,914	61,243	406,157	323,413	57,442	380,855	21,501	6.6%	3,801	6.6%	25,302	6.6%	4.3	4.0	0.3	7.5%
東北	584,978	94,987	679,965	632,026	99,404	731,430	▲ 47,048	▲7.4%	▲ 4,417	▲4.4%	▲ 51,465	▲7.0%	6.4	6.8	▲ 0.4	▲5.9%
関東	2,131,705	206,205	2,337,910	2,327,064	195,658	2,522,722	▲ 195,359	▲8.4%	10,547	5.4%	▲ 184,812	▲7.3%	6.7	7.3	▲ 0.6	▲8.2%
中部	724,230	46,249	770,479	764,635	47,702	812,337	▲ 40,405	▲5.3%	▲ 1,453	▲3.0%	▲ 41,858	▲5.2%	6.7	7.1	▲ 0.4	▲5.6%
北陸	138,920	22,763	161,683	148,596	20,948	169,544	▲ 9,676	▲6.5%	1,815	8.7%	▲ 7,861	▲4.6%	4.9	5.2	▲ 0.3	▲5.8%
近畿	662,960	46,402	709,362	708,354	44,977	753,331	▲ 45,394	▲6.4%	1,425	3.2%	▲ 43,969	▲5.8%	5.6	5.9	▲ 0.3	▲5.1%
中国	428,700	23,150	451,850	457,483	24,165	481,648	▲ 28,783	▲6.3%	▲ 1,015	▲4.2%	▲ 29,798	▲6.2%	5.7	6.0	▲ 0.3	▲5.0%
四国	229,987	4,281	234,268	242,233	5,275	247,508	▲ 12,246	▲5.1%	▲ 994	▲18.8%	▲ 13,240	▲5.3%	5.4	5.6	▲ 0.2	▲3.6%
九州	1,003,419	78,732	1,082,151	1,039,710	88,655	1,128,365	▲ 36,291	▲3.5%	▲ 9,923	▲11.2%	▲ 46,214	▲4.1%	5.3	5.4	▲ 0.1	▲1.9%
沖縄	130,580	3,278	133,858	126,775	2,421	129,196	3,805	3.0%	857	35.4%	4,662	3.6%	4.4	4.3	0.1	2.3%
全国	6,380,393	587,290	6,967,683	6,770,289	586,647	7,356,936	▲ 389,896	▲5.8%	643	0.1%	▲ 389,253	▲5.3%	5.9	6.2	▲ 0.3	▲4.8%

当月平均気温		
	出典:気象庁	前年比
札幌	12.6	0.1℃
仙台	15.5	▲0.3℃
東京	17.2	▲1.0℃
名古屋	18.7	▲1.2℃
富山	16.6	▲1.3℃
大阪	19	▲1.3℃
広島	18.9	▲1.0℃
高松	18.8	▲1.2℃
福岡	19.6	▲1.4℃
那覇	26	0.0℃
全国	18.3℃	−0.9℃

参考　2022年10月の一般ガス事業のガス販売量実績

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	26,627	26,413	214	0.8%
	商業用他	1,197	1,196	2	0.1%
	計	27,825	27,609	215	0.8%

出典:経産省HP

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	484,591	490,795	▲ 6,204	▲1.3%
	商業用他	2,410,441	2,380,279	30,162	1.3%
	計	2,895,032	2,871,074	23,959	0.8%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2022年10月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2022年度累計（4月-10月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2022年度累計(4月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年度累計(4月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年度累計(4月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年度累計(4月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年度累計(4月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)
北海道	2,387	2,388	▲ 1	▲0.0%	987,303	986,908	395	0.0%	689,923	692,894	▲ 2,971	▲0.4%	573,463	579,688	▲ 6,225	▲1.1%	564,240	570,307	▲ 6,067	▲ 1.1%
東北	4,186	4,204	▲ 18	▲0.4%	1,074,164	1,082,821	▲ 8,657	▲0.8%	796,904	800,694	▲ 3,790	▲0.5%	649,083	658,763	▲ 9,680	▲1.5%	640,069	649,714	▲ 9,645	▲ 1.5%
関東	14,319	14,442	▲ 123	▲0.9%	3,637,186	3,656,002	▲ 18,816	▲0.5%	2,638,830	2,658,598	▲ 19,768	▲0.7%	2,250,758	2,272,896	▲ 22,138	▲1.0%	2,229,393	2,251,336	▲ 21,943	▲ 1.0%
中部	4,573	4,544	29	0.6%	1,223,610	1,218,607	5,003	0.4%	894,434	894,143	291	0.0%	756,071	753,330	2,741	0.4%	751,813	748,985	2,828	0.4%
北陸	1,931	1,960	▲ 29	▲1.5%	410,917	414,088	▲ 3,171	▲0.8%	268,220	271,441	▲ 3,221	▲1.2%	199,849	203,000	▲ 3,151	▲1.6%	198,114	201,068	▲ 2,954	▲ 1.5%
近畿	6,959	6,993	▲ 34	▲0.5%	1,500,595	1,510,309	▲ 9,714	▲0.6%	1,072,165	1,083,228	▲ 11,063	▲1.0%	838,484	847,918	▲ 9,434	▲1.1%	833,074	842,434	▲ 9,360	▲ 1.1%
中国	4,177	4,222	▲ 45	▲1.1%	965,487	976,703	▲ 11,216	▲1.1%	657,297	664,251	▲ 6,954	▲1.0%	527,713	536,597	▲ 8,884	▲1.7%	524,554	533,381	▲ 8,827	▲ 1.7%
四国	2,443	2,451	▲ 8	▲0.3%	501,748	501,592	156	0.0%	396,684	398,770	▲ 2,086	▲0.5%	300,689	302,445	▲ 1,756	▲0.6%	300,029	301,768	▲ 1,739	▲ 0.6%
九州	8,217	8,260	▲ 43	▲0.5%	2,117,776	2,123,478	▲ 5,702	▲0.3%	1,598,498	1,607,899	▲ 9,401	▲0.6%	1,337,676	1,351,548	▲ 13,872	▲1.0%	1,330,314	1,344,145	▲ 13,831	▲ 1.0%
沖縄	1,420	1,373	47	3.4%	240,657	234,965	5,692	2.4%	236,453	230,505	5,948	2.6%	209,036	205,382	3,654	1.8%	208,877	205,231	3,646	1.8%
全国	50,612	50,837	▲ 225	▲0.4%	12,659,443	12,705,473	▲ 46,030	▲0.4%	9,249,408	9,302,423	▲ 53,015	▲0.6%	7,642,822	7,711,567	▲ 68,745	▲0.9%	7,580,477	7,648,369	▲ 67,892	▲ 0.9%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2022年度累計(4月-10月)			前年同期			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2022年度累計(4月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)
北海道	3,006,384	562,487	3,568,871	3,184,662	593,923	3,778,585	▲ 178,278	▲5.6%	▲ 31,436	▲5.3%	▲ 209,714	▲5.6%	5.3	5.6	▲ 0.3	▲5.4%
東北	4,934,688	807,933	5,742,621	5,206,402	808,320	6,014,722	▲ 271,714	▲5.2%	▲ 387	▲0.0%	▲ 272,101	▲4.5%	7.7	8.0	▲ 0.3	▲3.8%
関東	18,782,118	1,621,073	20,403,191	19,985,198	1,528,532	21,513,730	▲ 1,203,080	▲6.0%	92,541	6.1%	▲ 1,110,539	▲5.2%	8.4	8.9	▲ 0.5	▲5.6%
中部	6,166,392	359,801	6,526,193	6,673,709	347,884	7,021,593	▲ 507,317	▲7.6%	11,917	3.4%	▲ 495,400	▲7.1%	8.2	8.9	▲ 0.7	▲7.9%
北陸	1,243,370	174,849	1,418,219	1,351,698	171,317	1,523,015	▲ 108,328	▲8.0%	3,532	2.1%	▲ 104,796	▲6.9%	6.3	6.7	▲ 0.4	▲6.0%
近畿	6,097,914	360,030	6,457,944	6,641,570	356,322	6,997,892	▲ 543,656	▲8.2%	3,708	1.0%	▲ 539,948	▲7.7%	7.3	7.9	▲ 0.6	▲7.6%
中国	3,674,273	186,973	3,861,246	4,093,092	183,402	4,276,494	▲ 418,819	▲10.2%	3,571	1.9%	▲ 415,248	▲9.7%	7.0	7.7	▲ 0.7	▲9.1%
四国	1,972,023	38,972	2,010,995	2,165,129	38,546	2,203,675	▲ 193,106	▲8.9%	426	1.1%	▲ 192,680	▲8.7%	6.6	7.2	▲ 0.6	▲8.3%
九州	8,694,463	556,695	9,251,158	9,413,385	579,141	9,992,526	▲ 718,922	▲7.6%	▲ 22,446	▲3.9%	▲ 741,368	▲7.4%	6.5	7.0	▲ 0.5	▲7.1%
沖縄	1,100,061	21,884	1,121,945	1,097,593	15,994	1,113,587	2,468	0.2%	5,890	36.8%	8,358	0.8%	5.3	5.3	0.0	0.0%
全国	55,671,686	4,690,697	60,362,383	59,812,438	4,623,381	64,435,819	▲ 4,140,752	▲6.9%	67,316	1.5%	▲ 4,073,436	▲6.3%	7.3	7.8	▲ 0.5	▲6.4%

2022年度累計(4月-10月) 平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	17.0	0.0℃
仙台	20.1	0.0℃
東京	22.7	0.0℃
名古屋	23.8	0.0℃
富山	22.2	0.0℃
大阪	24.2	0.0℃
広島	24.0	0.0℃
高松	24.1	0.0℃
福岡	24.4	0.0℃
那覇	26.8	0.0℃
全国	22.9	0.0

参考　2022年度(4月－10月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省HP

		当年4月－2022.10月	前年同期	増　減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	186,294	184,966	1,328	0.7%
	商業用他	8,408	8,386	22	0.3%
	計	194,702	193,352	1,350	0.7%

		当年4月－2022.10月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	3,997,991	4,155,599	▲ 157,607	▲ 3.8%
	商業用他	17,618,098	16,830,201	787,896	4.7%
	計	21,616,089	20,985,800	630,289	3.0%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2022年累計（1月-10月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課 簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2022年累計(1月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年累計(1月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年累計(1月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年累計(1月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)	2022年累計(1月-10月)	前年同期	増減	前年比(%)
北海道	3,410	3,413	▲ 3	▲0.1%	1,410,426	1,410,051	375	0.0%	986,349	990,761	▲ 4,412	▲0.4%	820,494	829,789	▲ 9,295	▲1.1%	807,206	816,227	▲ 9,021	▲ 1.1%
東北	5,981	6,007	▲ 26	▲0.4%	1,535,507	1,547,637	▲ 12,130	▲0.8%	1,138,725	1,144,250	▲ 5,525	▲0.5%	928,412	942,159	▲ 13,747	▲1.5%	915,499	929,200	▲ 13,701	▲ 1.5%
関東	20,478	20,654	▲ 176	▲0.9%	5,198,943	5,225,880	▲ 26,937	▲0.5%	3,773,217	3,802,681	▲ 29,464	▲0.8%	3,219,604	3,252,435	▲ 32,831	▲1.0%	3,188,983	3,221,562	▲ 32,579	▲ 1.0%
中部	6,521	6,492	29	0.4%	1,746,392	1,741,438	4,954	0.3%	1,277,097	1,278,271	▲ 1,174	▲0.1%	1,079,273	1,077,073	2,200	0.2%	1,073,169	1,070,869	2,300	0.2%
北陸	2,759	2,801	▲ 42	▲1.5%	587,234	591,475	▲ 4,241	▲0.7%	383,386	388,132	▲ 4,746	▲1.2%	285,687	289,822	▲ 4,135	▲1.4%	283,209	287,057	▲ 3,848	▲ 1.3%
近畿	9,951	9,997	▲ 46	▲0.5%	2,145,692	2,160,969	▲ 15,277	▲0.7%	1,533,685	1,549,009	▲ 15,324	▲1.0%	1,199,816	1,213,550	▲ 13,734	▲1.1%	1,192,056	1,205,688	▲ 13,632	▲ 1.1%
中国	5,977	6,034	▲ 57	▲0.9%	1,381,210	1,395,715	▲ 14,505	▲1.0%	940,449	950,374	▲ 9,925	▲1.0%	755,520	767,991	▲ 12,471	▲1.6%	751,000	763,371	▲ 12,371	▲ 1.6%
四国	3,492	3,502	▲ 10	▲0.3%	716,487	716,718	▲ 231	▲0.0%	567,285	570,025	▲ 2,740	▲0.5%	429,535	432,573	▲ 3,038	▲0.7%	428,587	431,601	▲ 3,014	▲ 0.7%
九州	11,755	11,787	▲ 32	▲0.3%	3,028,168	3,032,529	▲ 4,361	▲0.1%	2,286,339	2,296,937	▲ 10,598	▲0.5%	1,913,651	1,932,470	▲ 18,819	▲1.0%	1,903,125	1,921,923	▲ 18,798	▲ 1.0%
沖縄	2,020	1,953	67	3.4%	342,793	334,679	8,114	2.4%	336,665	328,327	8,338	2.5%	297,927	293,360	4,567	1.6%	297,704	293,146	4,558	1.6%
全国	72,344	72,640	▲ 296	▲0.4%	18,092,852	18,157,091	▲ 64,239	▲0.4%	13,223,197	13,298,767	▲ 75,570	▲0.6%	10,929,919	11,031,222	▲ 101,303	▲0.9%	10,840,538	10,940,644	▲ 100,106	▲ 0.9%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2022年累計(1月-10月)			前年同月累計			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2022年累計(1月-10月)	前年同月累計	増減	前年比(%)
北海道	5,895,945	1,202,226	7,098,171	6,118,955	1,275,373	7,394,328	▲ 223,010	▲3.6%	▲ 73,147	▲5.7%	▲ 296,157	▲4.0%	7.3	7.5	▲ 0.2	▲2.7%
東北	8,471,501	1,413,984	9,885,485	8,850,240	1,385,771	10,236,011	▲ 378,739	▲4.3%	28,213	2.0%	▲ 350,526	▲3.4%	9.3	9.5	▲ 0.2	▲2.1%
関東	34,599,864	2,787,104	37,386,968	35,914,349	2,584,892	38,499,241	▲ 1,314,485	▲3.7%	202,212	7.8%	▲ 1,112,273	▲2.9%	10.8	11.1	▲ 0.3	▲2.7%
中部	11,756,812	609,488	12,366,300	12,211,515	573,995	12,785,510	▲ 454,703	▲3.7%	35,493	6.2%	▲ 419,210	▲3.3%	11.0	11.4	▲ 0.4	▲3.5%
北陸	2,250,695	272,779	2,523,474	2,387,882	274,234	2,662,116	▲ 137,187	▲5.7%	▲ 1,455	▲0.5%	▲ 138,642	▲5.2%	7.9	8.3	▲ 0.4	▲4.8%
近畿	11,435,441	571,956	12,007,397	11,998,730	557,659	12,556,389	▲ 563,289	▲4.7%	14,297	2.6%	▲ 548,992	▲4.4%	9.6	10.0	▲ 0.4	▲4.0%
中国	7,067,538	331,543	7,399,081	7,536,990	329,692	7,866,682	▲ 469,452	▲6.2%	1,851	0.6%	▲ 467,601	▲5.9%	9.4	9.9	▲ 0.5	▲5.1%
四国	3,607,715	60,437	3,668,152	3,840,100	58,169	3,898,269	▲ 232,385	▲6.1%	2,268	3.9%	▲ 230,117	▲5.9%	8.4	8.9	▲ 0.5	▲5.6%
九州	16,234,479	839,100	17,073,579	17,019,496	860,222	17,879,718	▲ 785,017	▲4.6%	▲ 21,122	▲2.5%	▲ 806,139	▲4.5%	8.5	8.9	▲ 0.4	▲4.5%
沖縄	1,844,267	29,267	1,873,534	1,854,550	23,814	1,878,364	▲ 10,283	▲0.6%	5,453	22.9%	▲ 4,830	▲0.3%	6.2	6.3	▲ 0.1	▲1.6%
全国	103,164,257	8,117,884	111,282,141	107,732,807	7,923,821	115,656,628	▲ 4,568,550	▲4.2%	194,063	2.4%	▲ 4,374,487	▲3.8%	9.5	9.8	▲ 0.3	▲3.1%

2022年累計（1月-10月）平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	11.6	0.1℃
仙台	14.6	▲0.2℃
東京	17.5	▲0.3℃
名古屋	18.1	▲0.1℃
富山	16.3	0.0℃
大阪	18.7	▲0.1℃
広島	18.4	▲0.0℃
高松	18.5	▲0.1℃
福岡	19.2	▲0.3℃
那覇	24.2	▲0.1℃
全国	17.7	▲0.1℃

参考　2022年(1月－10月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省HP

		当年1月－10月	前年同期	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	265,779	264,016	1,763	0.7%
	商業用他	12,040	12,016	24	0.2%
	計	277,819	276,033	1,787	0.6%

		当年1月－10月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	8,046,853	8,132,915	▲ 86,062	▲ 1.1%
	商業用他	26,612,033	25,321,563	1,290,471	5.1%
	計	34,658,886	33,454,478	1,204,408	3.6%

（41.8605MJ=1万kcal換算）　（41.8605MJ=1万kcal換算）

2022年度
第5回業務委員会
資料№10-2（参考）

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和４年１０月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和４年１０月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、６，９６７，６８３㎥となり、対前年同月比９４．７％、調定数は、対前年同月比９９．２％、平均販売量は、対前年同月比９５．５％だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ７，２１６（対前月より４地点群減少、対前年同月比９９．５％）、１，８０４，９１０（対前月より２，８２１地点減少、対前年同月比９９．５％）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、１，３１８，７２５個（対前年同月比９９．４％）、調定数は、１，０８９，１８４件（対前年同月比９９．２％）、そのうち家庭用メーター取付数は、１，３０７，０８４個、調定数は、１，０８０，３０５件である。
メーター取付数は、全体で対前月９４９個の減少（対前月比９９．９％）、調定数は、対前月１，０３４件の増加（対前月比１００．１％）であった。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、６，９６７，６８３㎥で、そのうち家庭用は、６，３８０，３９３㎥（構成比９１．６％）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量）対前年同月比	生産量（販売量）対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2021年10月	2022年10月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2022001010	202210	北海道局	106.65	106.64	4.61	4.98	107.83
2022001010	202210	東北局	92.56	92.96	7.8	7.36	94.39
2022001010	202210	関東局	91.6	92.67	7.79	7.29	93.5
2022001010	202210	中部局	94.72	94.85	7.55	7.13	94.49
2022001010	202210	北陸支局	93.49	95.36	5.89	5.68	96.36
2022001010	202210	近畿局	93.59	94.16	6.24	5.94	95.21
2022001010	202210	中国局	94.01	94.1	6.3	6.02	95.58
2022001010	202210	四国局	94.94	94.65	5.75	5.46	95.09
2022001010	202210	九州局	96.51	95.9	5.86	5.68	96.88
2022001010	202210	沖縄局	103	103.61	4.39	4.46	101.56
2022001010	202210	全　国	94.26	94.73	6.7	6.4	95.52

ｲ集計表（令和４年10月分）総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	341	596	2,039	655	275	992	593	349	1,173	203			7,216
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	140,929	152,669	518,725	175,024	58,616	212,792	137,551	71,963	302,244	34,397			1,804,910
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	6,480,783	9,153	6,489,936
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	1,070,228	1,543,673	5,219,126	1,799,728	390,104	1,774,681	1,034,589	565,152	2,632,917	267,610	16,257,428	40,380	16,297,808
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	39,955	0	0	0	0	0	0	0			39,955
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	6,401,485	36,967	6,438,452
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-281,000	-1,532	-282,532
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	6,670,562	9,248	6,679,810
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	96,199	111,955	372,280	127,062	37,793	151,858	92,949	56,514	226,611	33,863			1,307,084
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,458	0	0	0	0	0	0	0			3,458
		調定数	個	80,329	91,035	317,785	107,398	28,234	118,608	74,596	42,774	189,529	30,017			1,080,305
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,997	0	0	0	0	0	0	0			2,997
	商業用	取付数	個	1,560	1,369	3,458	565	288	692	280	137	675	18			9,042
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
		調定数	個	915	1,009	2,702	462	175	567	227	74	610	13			6,754
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
	その他	取付数	個	494	329	398	167	90	273	266	23	544	15			2,599
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	392	280	340	140	70	200	224	19	450	10			2,125
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	98,253	113,653	376,136	127,794	38,171	152,823	93,495	56,674	227,830	33,896			1,318,725
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,475	0	0	0	0	0	0	0			3,475
		調定数	個	81,636	92,324	320,827	108,000	28,479	119,375	75,047	42,867	190,589	30,040			1,089,184
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,014	0	0	0	0	0	0	0			3,014
生産量	家庭用		m^3	344,914	584,978	2,131,705	724,230	138,920	662,960	428,700	229,987	1,003,419	130,580			6,380,393
(販売量)	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	39,885	0	0	0	0	0	0	0			39,885
	商業用		m^3	31,905	63,670	160,008	36,555	11,065	26,571	9,806	2,081	26,778	2,561			371,000
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	901	0	0	0	0	0	0	0			901
	その他		m^3	29,338	31,317	46,197	9,694	11,698	19,831	13,344	2,200	51,954	717			216,290
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	406,157	679,965	2,337,910	770,479	161,683	709,362	451,850	234,268	1,082,151	133,858			6,967,683
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	40,786	0	0	0	0	0	0	0			40,786